

重点施策	4	スポーツ交流などによる地域活性化の推進
目標像	本市の豊かな自然や都市環境といった地域資源を活用し、スポーツ大会や合宿の誘致、プロスポーツイベントの観戦や観光などを目的とした本市への来訪を促進することにより、交流人口の拡大や地域経済への波及効果が創出されている。	

現状と課題

- ・本市では、これまで日本代表レベルの合宿受入れを行ってきた。レスリング女子日本代表(H28, R1)、柔道女子日本代表(R1)、車いすラグビー日本代表(H28, H29, R1)、スピードスケートディベロップメントチーム(R1)、パラクロスカントリースキーチームなどの実績を積み重ねてきた。
- ・また、平成26年度には本市での開催は3回目となったスノーボードワールドカップ、そして、初開催となるIPCクロスカントリースキーワールドカップを開催した。このほか市内では年間を通して全国大会は数回、全道大会は10回程度開催されている。
- ・多くの人が参加し、盛り上がりを見せるスポーツイベントは、スポーツの機会創出や意欲の向上、地域経済の活性化にもつながる一方、多額の費用も必要であり、財源の確保が難しくなっている。
- ・バーサーロペット・ジャパンについては、参加者や観客の増加を目指し、中心市街地の北彩都地区に歩くスキーとクロスカントリースキーの会場を一元化したが、コロナにより3年連続大会が中止となった。事業費に比べ参加料の割合が低く、一人当たりに係る支出額が大きいなど財源確保に課題がある。
- ・ハーフマラソンについては、参加者の増加を目指し、在り方検討委員会やコース企画部会を設立し、コースや大会内容の見直しを行っており、更なる魅力向上が課題である。
- ・北海道日本ハムファイターズや本市を拠点とするヴォレアス北海道などのプロスポーツ公式戦の開催は、市民がスポーツの魅力やプロの高い技術を体感できる機会となることをはじめ、子ども向けのスポーツ教室など、プロスポーツチームと学校や地域が連携した取組は、チームへの応援の広がりだけではなく、地域の活性化にもつながっている。
- ・新型コロナウイルスの影響によるインバウンドの消失や国内人流の抑制により、観光は厳しい状況に置かれているが、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、スポーツ観光の推進を図る必要がある。

指標	1	合宿誘致件数
	2	大会誘致件数
	3	ヴォレアス北海道の旭川市での平均入場者数

番号	施策の柱	内容	展開施策	取組内容	国の第3期スポーツ基本計画	備考	
1	・スポーツ合宿・大会の誘致推進	・トップレベルの大会や合宿の開催は、市民がスポーツの魅力や直接体感できる機会となり、競技人口の増加など競技力の向上、合宿や大会開催の適地としての本市の知名度向上などにつながることから、スポーツ大会や合宿の誘致を推進する。	①スポーツ合宿誘致の推進	・競技力の向上や競技の裾野拡大、本市の知名度向上を図るため、競技団体や関係団体と連携し、日本代表レベルをはじめとしたチームの合宿誘致を推進する。	⑦スポーツによる地域創生、まちづくり ⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材	・これまでの実績を活かした日本代表レベルの合宿誘致のほか、大学、社会人等の合宿の誘致	
			②スポーツ大会の誘致推進	・競技力の向上や来訪者増による地域経済の活性化につなげるため、競技団体や関係団体と連携し、全国や全道規模など競技レベルの高い大会の誘致を進めるとともに、スポーツ大会の主催者に対し、スポーツ大会の開催費補助を行う	⑦スポーツによる地域創生、まちづくり ⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材	・競技力の向上	
	2	大規模スポーツイベントの魅力向上	・本市を代表する大規模スポーツイベントであるバーサーロペット・ジャパンと旭川ハーフマラソンについて、持続可能で魅力的な大会の在り方について検討する。	①大規模スポーツイベントの見直し	・バーサーロペット・ジャパンについては、費用対効果の検証や持続可能な大会の在り方などの検討を行う。 ・旭川ハーフマラソンについては、大会の魅力向上や将来的なフルマラソン化に向けた検討を行う。	①多様な主体におけるスポーツの機会創出 ⑦スポーツによる地域創生、まちづくり	・バーサーロペット・ジャパン、旭川ハーフマラソンの魅力向上に向けた大会内容等の見直し
				②地域の特性を生かしたスポーツ観光メニューの充実	・本市や周辺地域の地域特性を活かし、通年を通じてスポーツを目的とした観光誘致が図られるよう、本市で開催する各種スポーツイベントへの参加や各種スポーツ体験のメニュー充実を図るとともに、スポーツ観戦や合宿と観光を結びつける取組を促進する。	⑦スポーツによる地域創生、まちづくり ⑩スポーツ推進のためハード、ソフト、人材	・スポーツと観光の連動、ウィズコロナ・アフターコロナに対応した、スポーツ観光の振興
3	・スポーツ観光の推進	ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、本市の豊かな自然や都市環境といった強みを活かし、スポーツを目的とした観光の推進を図る。	①プロ野球公式戦旭川開催の誘致、連携強化	・本市での試合増を目指し、北海道日本ハムファイターズの行う試合及び事業への協力や室内練習場の整備検討を行うとともに、チームとの連携により競技力の向上や競技の裾野拡大などに向けた取組を行う。	⑦スポーツによる地域創生、まちづくり ⑩スポーツ推進のためハード、ソフト、人材	・プロスポーツの公式戦、学校や地域と連携したイベントの開催等による、市民がスポーツの魅力やプロの高い技術を体感できる機会の更なる創出	
			②プロスポーツチームとの連携推進	北海道日本ハムファイターズやヴォレアス北海道をはじめ、北海道コンサドーレ札幌、レバンガ北海道、エスパルダ北海道など、北海道に拠点を置くプロスポーツチームとの連携をより一層強化し、スポーツを通じた地域活性化を促進する。	⑦スポーツによる地域創生、まちづくり ⑩スポーツ推進のためハード、ソフト、人材	・プロスポーツの公式戦、学校や地域と連携したイベントの開催等による、市民がスポーツの魅力やプロの高い技術を体感できる機会の更なる創出	
			③ヴォレアス北海道の活動支援	協力協定に基づき、ホームゲームの開催支援やチームのPRなどを行うほか、チームとの連携により競技力の向上やスポーツの裾野拡大を図るとともに、地域の活性化などで幅広く連携を進める。	①多様な主体におけるスポーツ機会創出 ②スポーツ界におけるDXの推進 ⑦スポーツによる地域創生、まちづくり ⑩スポーツ推進のためハード、ソフト、人材	・プロスポーツの公式戦、学校や地域と連携したイベントの開催等による、市民がスポーツの魅力やプロの高い技術を体感できる機会の更なる創出	